**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　4　回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和　４年　10月　29日　　１４時００分　～　１５時００分 | |
| 会場 | グループホーム　花乃苑　羽ノ浦 | |
| 参加者 | 利用者代表 | 1人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | ０人 |
| 市職員 | ０人 |
| 他事業所 | ０人 |
| 有識者 | ０人 |
| 事業者 | ５人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告   **新型コロナウィルス感染症による感染予防のため自施設のみで開催**  ２．入居者数　（R4.10/29現在）男性5名　女性１3名　　合計18名  　《要介護別》　要介護１（５名）要介護２（４名）　要介護３（８名）  　　　　　　　　要介護４（０名）要介護５（１名）    ３．入・退居者　(R4.9/1～R4.10/29)  　　　　　　　　9/ 8　 退居　要介護3　女性　長期入院のため  9/12 入居　要介護1　男性　在宅より  9/16 　入居　要介護2　女性　他施設より転居    ４．活動内容　　お誕生会　園芸（花苗植え、野菜の収穫）  　　　　　　　　散歩　ドライブ |
| 議題① | 「施設内コロナ感染者発生報告」  9/15入居者様1名に発熱症状みられ、自施設での抗原検査において陽性を確認。かかりつけ医の指示により、医療機関を受診し、コロナ陽性と診断される。症状は軽症とのことで入院にはならず帰苑。阿南保健所より指導を受けながら、療養者の対応および感染対策を開始する。翌日、陽性者の介助を行っていた職員1名も発熱症状が出始め、コロナ陽性が判明する。陽性の利用者様、職員ともにワクチン4回目接種済み。利用者様の症状としては3日間発熱あり、4日目より解熱。食欲はあり、しっかりと食事や水分も摂取されていた。酸素濃度も97％以下になることはなく安定されていた。他の入居者様や職員に対しても健康観察を強化し、月末までに前述以外の陽性者の発生はなかった。  〈今回のコロナ感染対応で感じた事〉  ・コロナにみられる症状があれば、「ただの風邪かな？」で済ませず、かかりつけ医への相談や抗原検査、居室での個別対応等の感染対策を直ちに実施する。  ・居室にトイレ・洗面台が備わっていないが、陽性の場合は居室での隔離となり、ポータブルトイレを使用したが、後始末に手間がかかり（感染リスクも高い）、手の洗浄もできないため、不便さを感じた。  ・今回は認知症が軽度の利用者様であったため、療養期間中は居室内で過ごして下さり、感染対策に協力していただけた。しかし、感染が中～重度の  　認知症の利用者様であった場合、基本的なマスクの装着はできず、自室で一人過ごすことは無理であり、完全に隔離することは困難となり感染拡大が予想される。陽性判明→入院とはならず、施設内も隔離やゾーニングがし難い構造であるため、感染が発生した場合の対応の難しさを感じる。  ・陽性者に対応する職員は出来るだけ限定したため、感染は最小限であった。  ・退室時に防護エプロン、手袋、フェイスシールド、マスクは全て破棄するため使用量が増加した。衛生品の補充や点検を行う。 |
|  |
| 課 題 ② | 現在、身体拘束に該当者はいません。  コロナ禍で家族や知人との交流に制限があり、以前に比べると外出の機会も減っているため、利用者様は閉塞感を抱きやすくなっているのではないかと感じる。現在の利用者様の生活状況＝身体拘束ではないが、制限された閉じこもりの生活ではストレスを感じやすくなると思う。ストレス→対応困難な行動の出現→職員による不適切なケアの悪循環に陥らないように、利用者様が笑顔で穏やかに生活が送れるよう、散歩やドライブ・買い物等、感染対策をとりながら外出の支援も行っている。 |
| その他 | 11月中旬　インフルエンザワクチン接種予定  11月下旬　コロナワクチン5回目接種予定 |